

平成26年度 同好会事業報告

俳文学同好会 世話係名 館林 弘毅 会長名 鶴田順子

月 日	実施した事業内容	参加人員
8月9日	夏期講習会 臥流公園吟行と句会	5名
11月29日	句会	5名

本年度の俳文学同好会は、六名の会員でスタートしました。主な活動は、吟行と句会です。慌ただしく生活している中で、吟行・句会の時だけは、周りの自然を眺めながら、心静かに過ごすことができます。このような時間を過ごすことができることの喜びを句会・吟行の度に感じています。

一回目の句会は、八月九日、臥竜公園と動物園へ行き、吟行と句会を実施しました。「雉子」主催の田中保先生を講師にお迎えして行いました。

臥竜公園では、季語を田中先生に教えていただきながら歩きました。静かな臥竜池の周りをゆったりとした気持ちで歩け、周りの自然をしっかりと観察することができました。動物園では、早い時間だったためか観光客も少なく、カピバラの檻に入り触らせてもらうことができました。大人が歓声をあげながらカピバラを撫でる姿は、他の人から見ると吃驚されたかもしれません。ただ、このようなこともできて、俳句づくりは楽しく行うことができました。

二回目の句会は、十一月二十九日、栗ガ丘小学校で行いました。小布施町内を吟行する予定でしたが、大雨のため、部屋の中で句会を行いました。

田中先生に俳句ゲームを教えていただきました。上五をつくる人、中七をつくる人、下七をつくる人に分かれて、四つずつ作り、それをランダムにつなげて行って、どんな俳句になるかを楽しみました。悩み考えてつくる自分の俳句より、偶然にも素敵な俳句ができたので、少々悔しい思いもしましたが、これからの俳句づくりの参考になると思いました。ゲームの後は、俳句づくりをしました。今までの経験や部屋の中から眺めたものを材に行いました。

感動したことを五七五で表現するには、自分の語彙力の無さをいつも感じます。

それでも、田中先生に表現したいことを伝え、句を添削していただいて、何とか俳句らしいものができたという感じです。田中先生の丁寧なご指導、本当にありがとうございました。

(会長 鶴田 順子)